

# 2026 柳瀬地区落ち葉掃き体験会報告

～みんなで里山を守り、循環型農業を応援し、未来に繋げる～



柳瀬地区まちづくり協議会環境部会 市民大学ファームの会

2026年1月23日 代表 中原幹男

2026年1月17日、所沢市柳瀬地区で“陽子ファーム”さんが管理されている“ヤマ”的落ち葉掃きを行いました。参加されたみなさま、大変お疲れ様でした。2023年7月「武蔵野の落葉堆肥農法」がFAO(国連食糧農業機関)によって世界農業遺産に認定され、所沢市の広報でも大きく取り上げられ、今年も広報の効果で参加者が昨年同様150名に達しました。当日は、寒さも緩んで快晴の落葉掃き日和となり気持ち良く作業ができ、幼小中高大青年中高年と全世代が参加して大変にぎやかで和やかなイベントになりました。

ことしの“ヤマ”は、木々が一昨年来のナラ枯れで20本ほど倒れたり、昨年の猛暑の影響で葉が早く落ち、数も少なく、乾燥も進んでいたせいもあり、作業は早めに終了しました。老木が増えている“ヤマ”をいかに更新していくのか今後の課題です。

陽子ファームさんの畠ではこの落葉堆肥を長年有機栽培に活用されており、一昨年12月の土壤診断で、貯留する炭素量が極めて多く微生物も豊富に生息し、地球温暖化抑制に貢献している農地であることが証明されました。大切な武蔵野の緑と循環型農業は、市民が継続して協力し、守っていかなければなりません。今後ともみなさまのご支援をよろしくお願いします。

- 日 時 2026年1月17日(土) 9:00開会～12:00終了 ※受付場所、柳瀬まちづくりセンター口ビーコン
- 場 所 所沢市城「陽子ファーム」さん管理林(落ち葉掃きの場所は、柳瀬まちセン裏の雑木林、他)

■ 共催: 陽子ファーム、所沢市農業振興課、柳瀬地区まちづくり協議会環境部会

■ 協力: 市民大学OB会ところざわ倶楽部 所沢の自然と農業サークル、市民大学ファームの会

コロナ禍は約4年続きましたが、屋外活動の落葉掃きはこの間も絶やすことなく続けることができました。今回の募集では、14団体・個人合計97名の方々に参加いただき、ほかに市の公募で17名、陽子ファームさん関係者30名、農業振興課3名、柳瀬まちセン2名、小野塚市長のほかに環境市民の会所属国会議員、市議会議員を合わせて、総勢150名が集まりました。(昨年153名)。農業振興課に当日の進行を担っていただき、陽子ファーム池田さんご挨拶と作業手順の説明を受け、みなさん手際よく動かれて、予定より早く11時半には作業が終了しました。農業振興課には、武蔵野地域落葉堆肥農業システム解説や作業手順ポスター、落葉掃き専用熊手、ブルーシートの用意の他、柳瀬まちづくりセンター玄関借用、JA駐車場の手配をしていただきました。

陽子ファームさんからは、休憩時のお茶やお菓子と、帰り際にはキイイイのお土産をいただき、大勢の方々に集まっていたことに感謝のことばをいただきました。

この落葉掃きに先立ち、12月13日に埼玉森林センター4名で倒木20本の玉切りを行い、12月25日に自然と農業サークル・市大ファームメンバー10名で枝拾い・丸太移動を行いました。

みなさまに御礼申し上げます。

＜参加団体・個人＞

- |                     |                                   |
|---------------------|-----------------------------------|
| 1. 所沢の自然と農業サークル 16名 | 6. 所沢高校インターラクターブラブ 8名             |
| 2. ところざわ倶楽部 1名      | 7. 所沢市民ソーラー & 所沢環境市民の会 7名(議員4名含む) |
| 3. 市民大学ファームの会 5名    | 8. 生活クラブ生協 11名                    |
| 4. 秩父学園みどりの応援隊 1名   | 9. 景観市民活動クラブ 1名                   |
| 5. 東京農工大 11名        |                                   |

10. マザース 2名
11. 東所沢自治会 5名
12. 社会福祉協議会 1名

13. 「すずかぬ」子ども食堂 28名
14. 陽子ファーム関係 30名
15. 一般公募 17名

＜スナップ写真＞順不同





<集合写真>順不同



